

えき 動物の餌について

牛、ヤギ、羊は草食動物で、基本的に牧草を食べて成長します。豚は雑食^{ざっしょく}なので、何でも食べます。場合によっては人間も食べられてしまうことがあります。

農場には、約10haの採草地があり、牧草の生産をしています。夏場は、刈り取った牧草を乾燥させた「乾草^{かんそう}」を与えます。

ヤギや羊はその他に、春から秋にかけて放牧^{なま}をし、生の牧草を食べさせます。冬場は、牧草を漬け物状にして、保存がきくようにしたもの（サイレージ）を与えます。

牧草だけではなく、デントコーンという飼料用のトウモロコシを栽培し、デントコーンサイレージにして与えています。



私たちはやわらかい草が大好き！
ヤギさんたちは雑草や枯れ葉なんかも
食べちゃうけど、信じられないわ！

じゅんかんがたちくさん 循環型畜産について

農場にいる動物たちの排泄物^{はいせつぶつ}（うんちやおしっこ）は、どこにいつているのでしょうか？人の場合は、トイレに流してしまいがちですが、十和田農場では集めた排泄物^{はいせつぶつ}を処理して（堆肥処理^{たいひ}）、肥料にして牧草地の栄養源として利用しています。動物たちは、自分の排泄物^{はいせつぶつ}からできた肥料をまいた、栄養満点の土で育った草を食べているわけです。このことを循環型畜産^{じゅんかんがたちくさん}といいます。こうして、環境汚染を防ぎ、資源の有効活用をして、無駄^{むだ}のない畜産^{ちくさん}を目指しています。

北里大学獣医学部 附属フィールドサイエンスセンター 十和田農場

〒034-8628 青森県十和田市東二十三番町35の1番地
TEL 0176(23)4371(代) FAX 0176(23)8703

じゅうい 北里大学獣医学部へようこそ！

何を勉強する学校？

- 獣医師^{じゅういし}になる
- 家畜^{かちく}を育てて、利用する
- 私たちのまわりの環境を整備する

☆家畜^{かちく}について

人間のために生産されている動物のことを「家畜」といいます。例えば、肉や乳、卵、毛などを生産し、私たちの生活を支えています。

北里大学獣医学部^{じゅうい}では、このような勉強をしたり、新しいことを発見したり、まだわかっていないことを研究したりしています。FSC十和田農場では、大学の中で勉強や研究に使われる動物を管理しています。

F S C とは

FSCはField^{フィールド}（野外）Science^{サイエンス}（科学）Center^{センター}（中心）の頭文字をとったものです。つまり、動物を生産している現場で、勉強したり研究したりするところということです。

FSCは、十和田農場のほかに、北海道の八雲町^{やくもちょう}にも牧場があります。ここでは、たくさんの肉用牛を生産し出荷しています。

十和田農場で管理している動物は、牛、羊、ヤギ、豚です。それぞれの動物によって、飼育されている建物（畜舎^{ちくしゃ}）が違い、体の大きさや生活の仕方に合わせた設計になっています。

十和田農場にいる動物たちは、どのような特徴があり、どんなふうに行動しているのかを、観察してみよう！

牛は、肉になる牛（肉用種）と、牛乳をしぼる牛（乳用種）^{にゅうようしゅ}がいます。日本では、現在はみられなくなりましたが、昔は物を運んだり、農作業の力仕事に使ったりするために牛を飼っていました。ただ、肉用種でも子供を産むと乳は出るし、乳用種^{にゅうようしゅ}の肉も食べられます。スーパーで売られている「国産牛」と表示されている肉のほとんどが、乳用種であるホルスタインという牛の肉です。



ぼくは日本短角種！
北海道や北東北に少しいるよ。

十和田農場にいる牛は、すべて肉用種です。みんなが勉強するために、様々な品種の牛を飼育しています。ちなみに、日本で飼養^{しやう}されている肉用牛の90%以上が黒毛和種^{くろげわしゅ}なので、みんなはとても珍しい牛を見学できるよ！



羊は、肉用種と毛を刈り取って利用する毛用種がいます。十和田農場では、お肉がおいしいサフォーク種を飼育しています。ジンギスカンの肉は大体がサフォーク種のもので、サフォークの毛は、固くて太く短いため、カーペットなど丈夫さを求められるものにはぴったりの毛です。また、マンクス・ロフタンという、

日本に50頭ほどしかいない珍しい羊も飼育しています。彼らは立派な角が特徴的で、多いものだと6本の角が生えます。

羊は毛がわりがありません。そのため、年に1回毛刈りが必要です。十和田農場

では刈り取った羊毛でフェルト作品をつくっています。



日本では、1日に約7万頭の豚がお肉になっています。スーパーなどで安く売られている豚肉ですが、豚肉がこんなにも身近な食材なのは、豚の体の特徴が関係しています。豚は、一度にたくさんの子豚を産む多産動物で、毎回10頭前後の子豚が生まれてきます。また、それだけ多くの子豚たちを元気に育てるために、母豚には14個前後のお乳がついて



運が良ければ、外で遊ぶほくたちを見られるかもね！



います。生まれてきたころは約1kgだった子豚は、たった半年で約100kgにまで成長し、お肉として出荷されます。こうして、豚肉は私たちの食卓に多く登場することになるわけです。十和田農場では、外に放してのびのび育てた豚の研究もしています。外で育てた豚は、臭みが少なくおいしいと評判です。

十和田農場では、ザーネン種という乳用種^{にゅうようしゅ}を飼育しています。ヤギの乳は、栄養価^{えいようか}が高く消化しやすく、人の乳に似ています。

ヤギというと、特徴的なのは長いあごひげですが、どうしてひげが生えるのでしょうか？実は、理由はよくわかっていません。ヤギのひげは生まれてきたころは何も生えておらず、成長するにつれて長くなっていきます。また、オスだけではなくメスにもひげは生えてきます。さらに、ヤギにはふさふさの毛のひげだけではなく、ころころとした丸いものがあごのあたりにぶら下がっています。これを「肉ぜん」（肉のひげという意味）と呼びますが、なぜついているのかはわかっていません。

ミルク大好き！
いたすらも大好き！



動物のからだや様子をよく観察してみよう！

- ① 足のつめはどうなっているだろう？
- ② 歯はどう生えているだろう？
- ③ どんな目をしているだろう？
- ④ なんて鳴いているだろう？
- ⑤ どうやってえさを食べているだろう？
- ⑥ お乳はいくつあるだろう？
- ⑦ オスとメスではどこがちがうだろう？
- ⑧ 何種類の動物がいるだろう？

